

第9回 大宮グランドセントラルステーション推進会議  
基盤整備推進部会 主なご意見等

開催日時：平成30年2月2日（金）15:00～17:00

開催場所：大宮区役所 南館301会議室

出席者

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 教授 久保田 尚
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 計画管理部部長
交通事業者	埼玉県乗用自動車協会 会長
交通事業者	埼玉県バス協会 専務理事
交通事業者	東武バスウエスト 取締役 運輸統括部長
交通事業者	国際興業 運輸事業部 担当部長
交通事業者	西武バス 運輸計画部 副長（代理）
関係行政機関	埼玉県 企画財政部参事兼交通政策課長
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部交通規制課 道路協議係長（代理）
関係行政機関	大宮警察署 交通課 交通規制係長（代理）
関係行政機関	さいたま市 都市局 都市計画部長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 建設局 土木部長
デザインコーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 サブディレクター（代理）
オブザーバー	埼玉県 産業労働部 観光課長
オブザーバー	都市再生機構（東日本都市再生本部 事業企画部） 事業企画第2課長

## ■ 駅機能について

### 【⇒事務局からの回答】

- ・ 駅機能高度化については、東西通路の整備による乗換改善がメインとなると認識しているが、新幹線高架下などの施設は支障移転が必要となる。
- ・ 駅がどれくらいの大きさでやるのかで、開発街区への影響範囲が変わってくる。

## ■ 駅前空間について

### 【⇒事務局からの回答】

- ・ 交通面では、搬入のことについても考えていただきたい。搬入口を持たない小さい商店が多いので、搬入の件も検討に組み入れておかないと大筋が決まってからでは手遅れになりかねない。
- ⇒詳細はこれからの検討になるが、交通需要マネジメントの展開として、街区開発等に合わせ、地下車路ネットワークを形成し、地下で搬入等をしたいと考えている。
- ・ フリンジ駐車場からシャトルバスを走らせるという考え方が示されているが、これはどういう意味か。
- ⇒駅前の中心部より少し離れたところに集約駐車場を設置したいと考えているが、これからの高齢化社会を考えると、集約駐車場から駅までのアクセスを改善する方法の例として、シャトルバスの導入を示している。
- ・ 賑わいのある街にしようとしている中で、歩かせないでピストン輸送にするのはどうなのかと思う。路線バスなども運行しているし、産業道路までの距離であればシャトルバスは不要ではないか。行き過ぎたサービスにならないようにしていただきたい。
- ⇒大規模駐車場がどこに確保できるかが重要であり、そこも含め今後検討していく必要がある
- ・ 地下にタクシー乗降場やタクシープールを整備するという考え方は決定事項なのか。資金がかかるから反対という考えもあるように思う。
- ⇒市の考えとしては、駅から近い所に、それぞれの交通モードを配置して縦動線を利用し乗換がスムーズになるようイメージしている。現時点では、決定事項ではないが、優れた案になるよう引き続き協議していきたい。
- ・ 導入する交通機能について、路線バスの集約化というのは、バス事業者として難しい面もある。効率化や合理化という表記で検討していただきたい。
- ⇒バス乗降場については、なるべくコンパクトにしていきたいと考えている。集約化の方法については、バス事業者と一緒に今後検討していきたい。

- ・東口については、現状、ツアーバスの発着場はないが、ツアーバスが離発着できる機能があれば、バス事業者にとってもプラスである。地下にタクシーの乗降場やタクシープールを整備するのであれば、あわせて地下にツアーバスも入れるようになれば良いと思う。
  - ・バスバースを交通広場に集約化することは問題ないと思うが、バスバースの数を集約化すると、行き先が違うバスを現状の数でどう処理するのが難しくなる。
  - ・高速バスについては、現状維持という表現だと分かりにくい。
- ⇒新都心にバスターミナルが整備されるので、その運行・運用とあわせて高速バス等の考え方を整理したい。

## ■道路ネットワークについて

【⇒事務局からの回答】

- ・東武大宮駅のホームの位置が大栄橋の橋脚で制約を受けている。今後、乗換の改善について検討していくうえで大きく影響するものである。この部会で、方針は決めていかないのか。

⇒道路ネットワークについては、今後、詳細な検討をしていく必要がある。

- ・先に駅前広場等の整備が進み、道路が出来なかった場合、交通渋滞が深刻となる。後からどうにかしようと思っても難しいということを念頭においた検討をするべきである。

## ■今後の検討の進め方

【⇒事務局からの回答】

- ・埼玉県では、平成27年に観光客数は1億4,000万人を超え、公表している範囲では、東京に次いで2位となった。県内移動者もいるが、多くの方が埼玉県を訪問している。さいたま市だけでも約2,000万人の観光客がおり、宿泊するかどうかは別として増加傾向である。このような状況下で、大宮駅は結節点として重要な場所であり、新都心に整備される予定の長距離バスターミナルと連携を図っていく一方で、広域的な結節点である大宮においても、大型バスが発着できるターミナルができれば、玄関口としての機能は向上すると考える。将来的な観点も考え、大宮駅に長距離バスのターミナル設置についても検討をしてもらいたい。

⇒バスターミナルについては、新都心と連携を図ることを前提としている。観光面での対応は、重要だと考えているので今後検討を深めていきたい。

## ■まとめ

- ・ 駅機能の高度化については、市と鉄道事業者で十分に議論し、構想案への記載内容を整理していく。
- ・ 導入する交通機能の表については、バス・タクシー機能等の考え方を文章にして構想案に記載していくこととする。
- ・ 道路ネットワークについては、本日頂いた御意見を参考に、引き続き検討を進めていく。
- ・ 新幹線利用の利点を活かし、観光面での検討を来年度以降深めていく。

以上